

兵庫

地域の小さな自然を守る団体情報誌

みんなのアドプト

5



兵庫川河川敷「宝塚市花のみち自治会」活動区域



この冊子は、兵庫県の清掃美化活動事業「アドプト」の啓蒙のために作成しています。

6月26日「刈払機取扱講習会」開催！！

2年前と同様に「兵庫森林サポートセンター」から2名の講師の方に来ていただき、1時間程度の室内講習会と実際にアドプト活動区域に出た実技講習会を行いました。

室内講習会では刈払機の手入れ方法やどのようにすれば刈払機が安全で少しでも快適に扱うことが出来るかのお話をさせていただきました。参加者は2名の女性を含む30名、全員が熱心に講義を聞き、また安全な装備についての質問等も多く出ました。具体的には肩掛けベルト、防護メガネ、呼吸器等の必要性について、また刈払機の選び方なども質問が出ました。防護メガネやヘルメットを装備しないで作業をされている方もあり危険性を感じたようでした。現場での実技は初心者の方もベテランの方も足の運びかたなど細かいことまで教えていただき皆さん改めて安全で効率の良い作業方法を習得されました。「この講習会での学びを団体に持ち帰り、今後は団体内での刈払機取扱いの学び直しに役立てたい。来年度は是非団体で指導する立場の方に参加してもらい団体内での指導に役立てるようにしたい」などの意見が出るほどでした。今回の講習会を受講していただいた方には講師の「兵庫森林サポートセンター」発行の「修了証」をお渡ししました。講習会受講により今まで以上に安全で安心できる活動を行っていただきたいと願っております。



室内講習会



現場実技講習会



個別指導も行いました

新規登録団体

団体名	活動区域	活動内容
	一庫・大路次川 東畦野4丁目	清掃美化・除草・草刈り
流域ネット猪名川（川西市）	猪名川河川敷 新田2丁目～多田院1丁目	清掃美化・除草・草刈り

アドプトを応援する人のコラム

アドプト活動団体の皆さん、地域の美化活動「ひょうごアドプト」にご賛同いただき誠にありがとうございます。皆さんが取り組んでいただいているアドプト活動は、地域の環境が良くなることだけでなく、様々な効果が生まれます。よく「ゴミがゴミを呼ぶ」と言いますが、活動により花で飾られたきれいな場所、草刈りなどで環境が良くなった場所は、ゴミのポイ捨てはしづらいという『啓発』の効果があります。また、継続的に活動を行うことで地域の交流が深まるとともに、高齢者の活躍の場、障がい者の社会進出の場となり、地域の『活性化』につながっているかと思えます。少し視点を変えると、身近な環境に触れることで、世界で起きている環境問題を自分のこととして考え、普段の生活の中で、Reduce（リデュース）ゴミを減らす、Reuse（リユース）再利用する、Recycle（リサイクル）再び資源として活用するといった3Rを実践する『動機』にもつながるかもしれません。これからも多くの方が『ひょうごアドプト』に参画いただき、皆さんが感じている地域と心の『美化』『活性化』が広がるよう、努めてまいりたいと思いますのでどうぞこれからもよろしくお願いします。

兵庫県阪神北県民局 宝塚土木事務所 所長補佐 大原 成幸

～ 編集後記 ～

夏休みの子ども達が楽しく遊ぶ河川敷や里山。そこがアドプト活動区域なのです。活動団体の皆さまには毎日暑い日が続きますが、熱中症等に十分お気をつけください。（Y・S）

発行責任者：（認定）宝塚NPOセンター



毎回同じことの繰り返し。雑草はすぐ成長します

活動団体紹介10
『宝塚市花のみち自治会』
 河川美化清掃活動団体

活動時間と日程を守り怪我をしないように声掛けをしながら注意すること、無理をしないことが大切であると思います。活動メンバーは高齢者が中心です。年々身体的にきつくなります。若い人の参加を増やさない活動の継続ができません。どのようにして若い人の参加を増やしたら良いかが今後の深刻な課題と感じております。しかし、作業の後のきれいな河川敷を見ると気分も

「活動は安全第一」
 花のみち自治会での数ある事業活動の中のひとつで環境事業部として宝塚大橋から下流左岸武庫川の河川敷へ荒神川までの約600mの草刈り、清掃を自治会員で行っています。
 河川敷の草の成長状態にもよりますが月3回、40名くらいで活動を予定しています。1回あたり3日間・2時間を目安に刈払機等を使用して草刈り・清掃をしています。とても重労働ですので、水分補給を含め体調の変化には敏感になります。刈払機という事故につながる恐れのある道具を使用しているので安全第一です。

「出会い、ふれあい、いつも新しい発見がある！」
 私ども、美座自治会は平成21年からアドプト活動を実施しております。公園の生垣剪定と河川敷平面の雑草草刈が主な活動で、活動区域は武庫川左岸河川敷で、主に荒神川から宝塚新大橋までの約700mです。活動に参加しているのは、40〜80歳までの男性15名と女性の2名、計17名です。現在若手は2名で他の活動団体と同じく後継者づくりに苦勞しております。

活動を継続するためには、まずはコミュニケーションが一番だと思っております。現在のメンバーにも、気持ちよくできる人ができる時にとお願いしておりますがなかなか揃いません。今後は、地域外の団体や企業との連携をとり協力体制ができるよう努力してまいります。
 『武庫川再発見！』作業中にはいろいろな発見もあります。支流の荒神川は、国道176号線と交差する橋から下流が二層式河岸になっています。水路を上部と下部に分け、通常は上部のせせらぎに水が流れるが、洪水時には増水した水は地



「伊子志の渡碑」から見る活動区域

活動団体紹介9
『ひょうごアドプト美座』
 河川美化清掃活動団体

下にある下部河川に流れるようになっていきます。治水機能と親水機能をあわせ持った川であることがわかりまします。明治になるまで、市域には武庫川に橋が架かっていなかったため、川を渡るには浅瀬を歩くか、渡しを利用するか方法がなかったよううで西宮に向かう街道上にあつたことから、武庫川を越えるための「船渡し」が行われていて、現在の末広小学校と美座小学校あたりを往復していたと伝えられています。このように草刈り一つですが、諸先輩方から先人たちの歴史の勉強もさせていただきます。ただいております。

爽快になり、身体も軽くなるように思います。

地域の一斉清掃日、この日だけは多くの方が活動に参加します



河川敷は夏休みの子どもの遊び場に



刈り取った草の山



地域の一斉清掃日、この日だけは多くの方が活動に参加します

※記事は「ひょうごアドプト美座」石川代表、杉森様「宝塚市花のみち自治会」中野様のご協力を得て編集しています。